

産婦人科

【診療科紹介】

当院の産婦人科の病床数は37床、2023年の22週以降の総分娩数582例、腹腔鏡を含む開腹手術60件、子宮鏡手術19件、婦人科進行悪性腫瘍数24例、子宮頸部上皮内腫瘍に対する円錐切除40例です。常勤・非常勤含めた産婦人科医7名（全員日本産科婦人科学会認定専門医）により、一般的な産婦人科医療と救命救急医療を行っています。さらに、周産期医療、婦人科悪性腫瘍、不妊治療などの高度・特殊医療は特殊外来を中心に分担しています。

当院は地域周産期母子医療センターとして、島根県の周産期を担っています。2023年は56例の母体搬送を受け入れました。また、地域がん拠点病院としての役割も果たしています。

1. 周産期診療

分娩はセントラルモニターの管理下、LDR（4室）で行い、「安全な」「快適な」「自然な」「家族的な」分娩を心がけ、産後は母子同室により母性を育むといったバランスのとれた周産期管理を目標としています。ローリスク妊婦は助産師だけによる分娩（院内助産）を行っています。

周産期の基幹病院であるため、ハイリスク妊婦外来で多胎妊娠、合併症妊娠、胎児発育不全、羊水異常、胎児・胎盤異常などの管理を行い、早産防止、異常の早期発見・早期治療に努めています。

2. 婦人科診療

卵巣腫瘍、子宮内膜症、異所性妊娠の適応例では、腹腔鏡下手術を積極的に施行しています。

当院はがん拠点病院で婦人科悪性腫瘍については、早期発見・早期治療に努めており、特に子宮頸がん検診ではHPV検査併用検診を推進しています。子宮頸部円錐切除術は日帰り手術で行うこともあります。手術は子宮体がん、卵巣癌の根治術が可能です。治療は患者さんの希望、年齢・体力、悪性腫瘍の病理学的悪性度・進展度に応じ、個人のQOLを第一に考えた個別治療をしています。

3. 不妊・内分泌診療

不妊症については、軽度不妊症治療や人工授精を行っています。

4. 女性のヘルスケア

月経異常や月経困難に対するホルモン療法（低用量ピルなど）、更年期医療に対しホルモン補充療法等を行い、骨密度測定、乳癌検診も行っています。

